



多摩モノまつり 自衛隊装備品展示で会場を彩る



自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は11月18日、多摩都市モノレール車庫基地で開催された「多摩モノまつり2023」の「働く車大集合」という企画に第1後方支援連隊と東部方面航空野整備隊の支援を受けて参加した。当日は秋晴れの中、約6千名が会場を訪れ、コロナ禍以前の来場者を超えるほどの賑わいを見た。会場では、来場者を装備品「高機動車」と観測ヘリコプター「OH16D」が出迎え、装備品の前での記念撮影やアンケート記入者への体験試乗を実施した。

また、広報ブースでは、自衛官募集相談員の方にもご協力いただき、スムーズに幅広い年齢層に対して細やかな広報を実施すると、迷彩服試着体験、VR体験に列が出来るほど大人気で、日頃出来ない体験に多くの方が歓声を上げるなど、終始笑顔が溢れる会場となった。

立川出張所は、今後も地域に密着した募集・広報活動等を部隊等と連携しながら実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げていくとしている。



八王子いちょう祭りで協力者と一緒に広報活動



自衛隊東京地方協力本部八王子地域事務所（所長 森3陸佐）は11月18日及び19日、東京都八王子市において開催された「第44回八王子いちょう祭り」に参加した。「八王子いちょう祭り」は1979年から開催されており、毎年約50万人規模の人出で賑わう八王子市最大の祭りである。コロナ禍では縮小規模で開催されていたが、今年はコロナ禍前の規模に復活し、多摩御陵周辺一帯及び八王子市内の国道20号のいちょう並木に沿って会場が開設された。当日は、第1偵察戦闘大隊から、指揮通信車、偵察警戒車等の車両展示支援を受けるとともに、開設した広報ブースでは、制服試着体験、VR体験、募集の説明等を実施した。また、募集相談員、八王子市防衛協会、家族会の方々からも募集活動の支援を頂いたことにより、広報ブースには多数の来場者が訪れ大盛況で、特に、日頃目の当たりにすることの無い自衛隊車両等に大人も子供も興味津々な様子で大人気であった。

八王子地域事務所は、今後も各種イベントに参加し、地域に根ざした活動により、募集・広報活動を推進していくとしている。

